

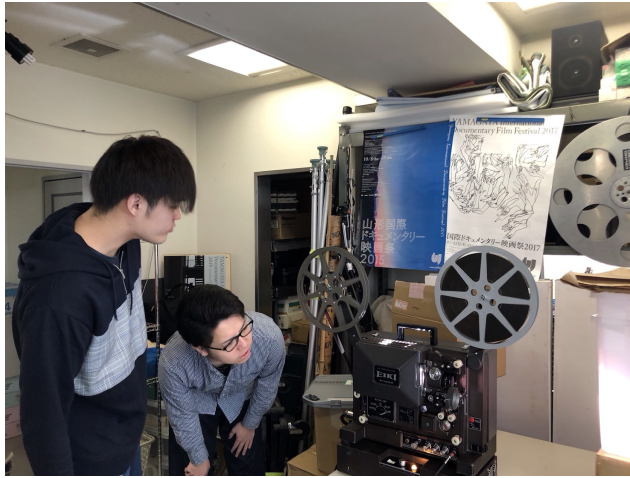
(別紙 12)

大学「人材育成強化科目」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	NPO 法人山形国際ドキュメンタリー映画祭
実習期間	平成 31年 3月 12日 ~ 平成 31年 3月 16日
学生氏名	山下純平
実習プログラム	時期的なものはありませんが、私が実習に行ったタイミングに「山形国際ドキュメンタリー映画祭」のプレイベントである「山の恵みの映画たち」という映画イベントに合わせて頂きその準備や歴代の作品が展示されている山形市のビッグウィングにあるフィルムライブラリーを見学もさせて頂きました。イベント当日は運営補助と作品を見せていただくこともできました。
学び・気づき (300字程度)	この実習ではさまざまな学びを得ることができました。社会ではお金という利益が中心で回っているイメージが私の中であり、営利を目的としない NPO 法人からの視点で社会を見たときとても新鮮でした。「利益よりご縁」という素敵な言葉また様々な企業と連携して運営していたイベントをみて人の温かさと「お金より重要なもの」を知ることができました。
今後に向けた 抱負 (200字程度)	今回の実習でもともと県内東北の就職を考えていましたがよりその意思が強くなりました。 その反面より考えていかなければならないものも知りました。今現在 IOT や SNS があふれる世の中でいかに「若い人にどうしたら映画に興味をもってもらえるか？」という話気づいてもらえるか。これを一発で解決できればうまいことありませんが考えをもつのは無駄ではなくむしろ必要なことだと思いました。 今後より SNS や新聞を活用して世の中を知りながら勉強していきたいと思っています。
インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)	上記にも少しありますが、人の温かさすごく感じることができる企業様でした。担当者の方も含めわたしたちに新味になって接して下さり質問に対しても1つ1つ丁寧に対応して頂きました。 また企業の性質上さまざまな他企業様や行政の方との交流があり、コミュニケーション力はもちろん協働力も磨かれるのではないのでしょうか。山形国際ドキュメンタリー映画祭では日本の作品のみならずアジアを中心に世界各国からも作品が応募されてきます。仕事内容としても県内に限らず世界を視野で見たスケールの大きいものでした。

写真 (1~3点)



(別紙 12)

大学「人材育成強化科目」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	認定 NPO 法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭
実習期間	令和 2 年 2 月 10 日 ~ 令和 2 年 2 月 14 日
学生氏名	池田 聖
実習プログラム	《ドキュメンタリー映画を体験してみませんか？～高校生による上映会～》 運営補助 2 月 3 日（月）事前訪問 2 月 10 日（月）パンフレットの綴じ込み、外回り 2 月 11 日（火）フィルムライブラリー運営補助 2 月 12 日（水）放課後上映会運営補助 2 月 13 日（木）ブログ執筆 2 月 14 日（金）金曜上映会運営補助
学び・気づき (300 字程度)	私は実習をするにあたり協同力とコミュニケーションスキルといった対人関係面でのスキルを高める事を目標としたが、それ+αとして映画祭事業等で観客が楽しめる工夫とは、というものを学ぶことが出来た。また、ドキュメンタリー映画に今まで触れたことがなかったのだが、その多様さに圧倒された。いかに私が普段見ている映画が説明的であるか、一つの物語として完成されているかを実感した。能動的に考えなくては見られない映画もたくさんあり、仕事に対する姿勢にも通じるものがあると気づくことが出来た。今回のインターンシップで知見を広げられた。
今後に向けた 抱負 (200 字程度)	五日間のインターンシップを通して、挨拶などは自分では出来たと思うが、名刺交換や社会通念上のマナーといった今まで特に触れてこなかったものに関しては自分の未熟さを感じさせられた。それからもっと貪欲に質問する等、今思い返せばこうすれば良かったと思う点があるため、都度復習して翌日に繋げること大事だと思った。しかし、短い間ではあったが学ぶことが多かったためバイトでも就活でも経験を活かせるだろう。
インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300 字)	国を問わず、いろんなドキュメンタリー映画を扱う会社であるため何が任されるのかと不安であったがいざ実習が始まってみると気さくな職員さんばかりで、こちらとしても変に気負わずにインターンを遂げられたと思う。基本業務としては事務作業といかにイベントごとを知ってもらうかという告知（それにとまなう外回り）であった。熱意が伝わる良い実習先だった。

写真 (1~3点)



図 1 金曜上映会の会場



図 2 フィルム保管庫



図 3 実際のフィルム


(別紙12)

大学「人材育成強化科目」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	認定NPO 法人山形国際ドキュメンタリー映画祭
実習期間	令和 2年 2月 10日 ~ 令和 2年 2月 14日
学生氏名	木村百合花
実習プログラム	<p>【一日目】</p> <p>14:00 自己紹介、ペーパーの折り込み作業</p> <p>14:30 外回り（あいさつ、冊子の設置お願いなど）</p> <p>16:30 日誌記入</p> <p>【二日目】</p> <p>9:15 移動・山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー見学 (フィルム収納庫、映写室)</p> <p>10:30 ドキュメンタリー映画作品鑑賞『ホテルクロニクル』</p> <p>12:00 感想交換</p> <p>日誌記入</p> <p>【三日目】</p> <p>15:00 移動・放課後上映会準備</p> <p>15:50 上映開始『ラ・カチャダ』</p> <p>17:30 感想交換</p> <p>17:45 片付け</p>

	<p>18:00 移動・日誌記入</p> <p>【四日目】</p> <p>14:00 初日のペーパー折り込みの続き、仕分け</p> <p>15:00 メールマガジン、ブログ記事の作成</p> <p>17:00 日誌記入</p> <p>【五日目】</p> <p>13:00 最終日あいさつ・移動</p> <p>13:30 金曜上映会受付業務</p> <p>14:00 上映開始『トランスニストラ』</p> <p>15:40 受付業務</p> <p>16:00 上映開始『ライオンのなかで暮らして』</p> <p>18:25 日誌記入</p>
<p>学び・気づき (300字程度)</p>	<p>庶務、イベント補助、外回りや作品視聴など、実際の NPO 法人の日常業務を中心に体験させていただいた。それに伴って、事務所の方々以外にも、外回りではお店の方や市役所の文化振興課の方、放課後上映会や金曜上映会では学生や会員の方と交流することができた。</p> <p>NPO・NGO 法人は、こういった形態でどのような方々が働いているのかが知りたいというのが今回の実習の私の一番の目標であった。大学の授業で学んではいたが、各団体によって形態など様々であるため、いまいち曖昧な部分だったので、実際に体験させていただいてわかったことが多かった。</p>
<p>今後に向けた 抱負</p>	<p>自分自身の課題としては、時事問題について疎いというのが指摘されてしまったのでそこをまず直していきたいと思った。ネットニュースばかり見て</p>

<p>(200字程度)</p>	<p>いと自分の関心のある分野に知識が偏ってしまい、経済や世界的な問題など社会人として必要な知識が身につけられないので、新聞を読むということを徹底したい。そして、コミュニケーション力をもっと高めたいとも感じた。</p>
<p>インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)</p>	<p>最初、ドキュメンタリー映画祭の期間以外は何をしているのだろうと謎だったが、庶務や映画関連のイベントなど、日常の業務が普通にあって、一般の企業と働き方はだいたい同じであるのだとわかった。思ったよりもアットホームな感じで、みなさん仲がいいし優しい人ばかりだと感じた。少人数だからというのもあると思うが、仕事がしやすそうな雰囲気だった。広報とか経理という役職は決まっていると思うが、ライブラリーの仕事は当番制のようで、仕事の量が偏らず自分の仕事に集中できそうだった。これは実習生の立場であるからできたことだが、色々な作品に触れる機会があって学ぶことが多かった。</p>
<p>写真 (1~3点)</p>	

(別紙 12)

大学「人材育成強化科目」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください(様式は自由です)。

実習企業・機関	認定NPO 法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭
実習期間	令和 2年 3月 10日 ~ 令和 2年 3月 14日
学生氏名	関澤 優
実習プログラム	3/10 発送作業、フォーラム山形見学 3/11 ライブラリー見学、アーカイビング作業 3/12 工作作業 3/13 上映会補助 3/14 イベント補助
学び・気づき (300字程度)	<p>まず、NPO 法人として活動することの意義は、相手の顔が見える点であると学んだ。NPO 法人は会員の方々の支えによって成り立っている。会員の方々の協力を得られるように、良好な関係を築くことが大切である。</p> <p>次に、映画産業の現状について学んだ。特にドキュメンタリー映画祭においては、堅苦しいイメージを抱いてしまう人が多いため、映画祭では、関心を示してもらうために多様な活動を行なっている。実習中においては、「映画」と「食」を結び付けたイベントをフォーラム山形の後援として行なっていた。「食」という私達の日常と関連付けることで、ドキュメンタリー映画をより身近に感じることができる、素晴らしいイベントだと感じた。</p>

<p>今後に向けた 抱負 (200字程度)</p>	<p>学び・気づきとしても挙げたように、NPO 法人として活動することの意義は、相手の顔が見える点である。実習を通してコミュニケーション能力に重要性について改めて考えさせられた。映画は考え方や価値観の多様性からなる映像作品であるので、受動的な姿勢をとり、理解しようとするのも大切だが、他者と意見を共有することで新たな解釈が生まれる。大学生活等を通して、他者との交流を意識し、コミュニケーション能力の向上に努めたい。</p>
<p>インターンシップ をして気づいた、 実習先の魅力 (300字)</p>	<p>映画祭の方々をはじめ、関わる全ての人々が映画が好きである点が大きな魅力である。ドキュメンタリー映画の魅力を多くの人に知ってもらうため、様々な活動を行なっている。</p> <p>また、若者にとってドキュメンタリー映画は、多様な映画作品の中でも離れた存在であるという認識であったが、上映会やイベントの様子から、幅広い年齢層の方に愛されているということが分かった。実習を通じて、映画祭に勤務するの方々、会員の方々、お客様等、様々な人の笑顔を目にした。特に、映画祭の方々とお客様が映画のこのみでなく、日常、家族のこと等をフランクに話していた様子が印象深かった。その場の雰囲気から、確かに人と人の密な繋がりを感ずることができた。</p>
<p>写真(1~3点)</p>	